

会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回戸田市都市景観審議会
開催日時	平成30年11月15日(木) 10時00分～12時00分
開催場所	市役所本庁舎7階 第5委員会室
委員長等氏名	戸田市都市景観審議会 会長 吉田 慎悟、副会長 岡田 智秀
出席者氏名 (委員)	小畑 益彦、柴田 勇、徳川 和久、江崎 奈穂子、庄司 理、寺尾 博
欠席者氏名 (委員)	荒井 歩
傍聴者	なし
事務局	都市整備部 大熊部長、金子次長、早川副参事(都市計画課長事務取扱) 都市計画課 松本主幹、本橋副主幹、金子主任
説明のため 出席した者	株式会社地域計画建築研究所 水谷主査、依藤主任
議 題	諮問案件 第2次戸田市景観計画の策定について
会議結果	別紙「会議の経過」のとおり
会議の経過	別紙「会議の経過」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第2次戸田市景観計画の策定について ・資料2 第2次戸田市景観計画(素案) ・当日配布資料 第4章 景観形成の目標 ・当日配布資料 第2次戸田市都市マスタープラン(改定版) 【概要版】
議事録確定	平成30年12月6日 戸田市都市景観審議会 会長 吉田 慎悟

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<u>1. 開会</u>
事務局	<u>2. 事務局あいさつ</u>
事務局	<u>3. 委員紹介</u>
事務局	<u>4. 会長・副会長の選出</u> 戸田市都市景観審議会規則第2条に基づき、会長に吉田委員、副会長に岡田委員が選出される。
会長・副会長	<u>5. 会長・副会長あいさつ</u>
会長	<u>6. 諮問案件</u> それでは、諮問案件である、第2次戸田市景観計画の策定について、事務局より説明願います。
事務局	(資料1及び資料2並びに当日配布資料により説明)
会長	それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問・ご意見等ございましたら、お願いします。
会長	「住民がつくるおしゃれなまち研究会」の今後の予定はどうでしょうか。
副会長	今年度を目途に研究成果を取りまとめる予定です。今後は、地域の方々が中心となって活動を実践していくことになります。
委員	資料2 第2次戸田市景観計画(素案)の14ページにおける「環境空間整備計画(戸田 華かいどう21)」については、「こころの中山道」を掲げて

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>推進してきたと思いますが、今後、方針を見直すことはあるのでしょうか。</p> <p>環境空間整備計画を策定しているので、実現に向けて取り組んでいく予定です。名称などは必要に応じて変更することがあるかもしれませんが、当初の目的は引き継がれていくと考えられます。見直しの予定については、担当部局に確認しておきます。</p>
会長	<p>環境空間については、継続して整備を進めてほしいと思います。</p> <p>景観形成の目標に関しては、現行の「おしゃれなまち」という表現の方が、どのようなまちを目指すのか、イメージが伝わりやすく感じます。皆さんはいかがでしょうか。</p> <p>今回提示された景観計画（素案）は、写真が追加されて、具体的なイメージが伝わり、分かりやすくなったと思います。</p>
委員	<p>戸田市都市マスタープランの都市づくりの目標にも記載されているように、「水と緑」が重要なキーワードではありますが、実態として水辺がいかされていないように感じます。以前から戸田ボートコースにおける水辺をいかす取組は検討されていますが、取組が進んでいないように感じます。噴水や滝などの水辺をいかしたアメニティを整備する手法もありますし、水辺を利用して美しいまちをつくることを検討してほしいと思います。</p> <p>また、かつては市内に農家が多く、竹林や屋敷林が多くありました。第2次戸田市景観計画の素案においても、樹木関係を重要視しているとは思いますが、緑の量を確保するような施策も必要ではないでしょうか。</p> <p>水と緑をどのようにいかすかについては、継続的に考えていくべき課題だと思います。</p>
会長	<p>景観上、水と緑は重要な要素だと思います。他に、水と緑についてご意見はありますか。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>戸田市は土地区画整理事業を中心にまちづくりを進めてきた経緯があります。今後は、既存のものをどういかし、次世代に残していくかということ意識して、彩湖・道満グリーンパークや戸田ボートコースなどの資源を活用し、水と緑をつなげ、市民に愛着を持ってもらえるようにしたいと考えます。ただ、第2次戸田市景観計画に記載するかどうか、他の行政計画で記載するかどうかについては、検討させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>市民に分かりやすくするために、パンフレット等を作成することも検討が必要だと思います。後谷公園も整備されて親しみやすくなったように思いますし、緑の質の向上にも力を入れていってほしいと思います。</p>
委員	<p>写真が多く、その説明書きも分かりやすいし、内容が伝わりやすくなったと思います。市内の見慣れた風景も新しく感じ、まちの風景が変わってきていることを実感しました。</p> <p>戸田市の特徴として「住工共生」が取り上げられていましたが、近頃はリノベーションされた倉庫も出てきています。子供の頃は、工場が建ち並ぶエリアに怖いイメージを持っていましたが、大人が目線で改めて見て回ると、こんな会社の倉庫や工場が地元にあったのかと、むしろ興味深くおもしろく感じました。子供の頃からこのようなまちの特徴を知っていれば、まちの個性を自覚して愛着を持つことができると思うので、次世代の担い手となる子供向けにも親しんで魅力を知ってもらえるような取組があるといいなと思いました。</p> <p>資料2 23ページに掲載されている「水辺で遊ぼう くらふとカーニバル in 戸田ボートコース」に参加してみて、戸田市ではものづくりが身近にあることがよく分かりました。例えば、ものづくりをしている様子が外から見えるなど、産業やものづくりが建物のデザインやまち並みに表れてくれば、それが戸田市の特徴になると思いました。</p> <p>水辺空間活用の規制緩和が都内で進んでおり、民間と連携して商業施設が水上の空間を利用するなど、水辺の良さを引き出すようないかされ方をして</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>います。にぎわいを外から持ってきて人を集めるだけではなく、今ある空間の良さをいかして魅力を伝えていくことが大事なのではないかと思いました。逆に、先日、三連休の中日に河川の土手に上がってみたら人が誰もおらず、物思いにふけて、水辺と緑いっぱい空間を独り占めできる「人のいない豊かさ」という都心にはないぜいたくさを感じ、これも貴重な戸田の魅力として、何らかの形で残せないものかと思いました。</p> <p>非常に良い視点であります。にぎわいそのものは良いことですが、「何もない」良さもあります。今ある良さをいかし、育てていくことが必要だと思います。資料2 24ページの産業の景観に、工場の外壁デザインが分節化されている写真がありますが、豊かな植栽や地域の活動と結びついた様子もあれば、より豊かなイメージと結びつくかもしれません。</p>
委員	<p>新しい景観形成の目標は個人的には良いと思いますが、唐突に感じるので、目標の説明書きに目標を再設定するに至った経緯をしっかりと書いた方がいいと思います。これまでの景観形成の目標を継承したものなのか、まったく新しいものなのか、明らかにして記載する方がよいかと思います。</p> <p>また、戸田市は景観法成立以前から景観づくりに力を入れてきているという実績を記載して、対外的にアピールしていくことも必要です。</p> <p>次回の議題に関係するかもしれませんが、緑がどんどん少なくなっているように感じるので、緑を維持・増やす取組を盛り込んでほしいと思います。</p>
会長	<p>景観形成の目標は短期間に変わるよりも、戸田市の景観分野では毎回出てくるような、分かりやすく、かつ、不変的な言葉としてほしいと思います。</p>
事務局	<p>景観づくりを継続的に進めていくため、ご意見を踏まえて、これまでの景観形成の目標を継承している旨を明示した説明書きとします。景観形成の目標は簡単に変わらない方がいいと思いますが、社会情勢の変化にも適切に対応するため、今後も審議会の意見を聴きながら検討していきたいと思いま</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>す。</p> <p>景観アドバイザーの立場としては、「戸田市の景観とはこういうもの」という分かりやすい、浸透しやすいものがいいと思います。例えば、目標そのものを変えるのではなく、2行目のサブタイトルだけ変わるようなやり方も考えられます。</p>
委員	<p>景観形成の目標の言葉は変わっても、取組自体はあまり変わらないのであれば、混乱が生じるおそれがあります。そもそも、景観計画の内容自体が市民にあまり理解されていないのではないかと思うので、資料2に掲載する写真を用いて、市民向けに戸田市の景観の良さが一枚で伝わるようなものを作成してはどうでしょうか。</p> <p>くらふとカーニバルに私も行きましたが、市としてもっと情報発信した方がよいと思いました。そのような時に使えるような景観形成の目標になればいいと思います。</p>
事務局	<p>事業者向けに、来年度にガイドラインの改定を予定しています。現在は冊子が複数に分かれていて重層的で分かりにくいので、統合して分かりやすくする予定としています。また、市民に対しての情報発信を工夫していきたいと考えています。いただいたご意見をもとに、取り組んでいきたいと思ひます。</p>
会長	<p>情報発信する対象ごとに、伝える内容と伝え方を工夫してください。例えば、事業者向けには、景観に配慮する手法がすぐに分かるチェックリストのようなものがあればいいと思います。</p>
委員	<p>戸田市はボートのまちとして売り出していますが、マンホールの絵柄やモニュメントにボートを用いているだけで、景観上の特徴がないまちだと思ひていましたが、資料2を見て、既存の素晴らしい風景に気づくことができま</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>した。</p> <p>北戸田駅のホームが日本一高い、東洋一の静水ボートコースなど、探せば一番のものが戸田市にもあると思います。「戸田市といえばこれ」というものをいかしながら景観づくりをするとよいかと思います。</p> <p>戸田ボートコースでオリンピックがあった事実や、戸田ボートコースという空間をいかすことが大切です。戸田ボートコースを利用する学生たちも巻き込みながら、楽しい空間となるように取り組んでほしいと思います。</p>
委員	<p>戸田市フィルムコミッション協議会では、フォトコンテストを実施し、市内の風景を撮影した、レベルの高い写真が応募されていることを情報提供します。</p>
会長	<p>倉庫や工場写真展を開くと面白いかもしれません。</p>
委員	<p>事業者にとって、景観についてのルールは好まれているわけではありませんが、ルールが分かりやすくなるのは歓迎です。</p> <p>事業者に協力を求める以上、市が何を行うのかが見えないのは問題だと思います。その一方、土地区画整理事業は目に見えて分かりやすいと思います。</p> <p>景観上の課題ではないのかもしれませんが、例えば無電柱化や、ごみ収集所が道路上に設置されていることへの対策などを課題にしてはどうでしょうか。</p>
会長	<p>事業者に好まれているわけではないというのは、どのような点でしょうか。</p>
委員	<p>事業者のアイデンティティに関わるような、建物の色彩を含めたデザインや看板に関するルールのことです。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>以前に、保育園の外壁の色彩について、景観アドバイザーとして協議を行いました。当初は桜の色ということで鮮やかなピンクの外壁を希望されていましたが、外壁色を主張しないことで桜が持つ色を際立たせるよう、協議により理解を促し、淡いピンク色に抑えてくれました。協議の時に的確に理由を伝え、相手を納得させることが大切です。</p> <p>景観づくりの成果についても、この10年間で良い方に変わってきているので、それを伝えていくといいと思います。</p>
委員	<p>資料2 26ページの地域レベルで見た景観特性について、5地域の区分で分けると、地域を縦断・横断するような道路、河川や環境空間などが適切に表現されていないのではないかと感じます。そのような構造が浮き上がるように整理しておけば、40ページの景観構造ごとの方針がいきってくるのではないのでしょうか。</p> <p>市役所南通り景観づくり推進地区は、国道第17号線につながる路線のため、無電柱化された経緯があると思います。他の路線でも、無電柱化は景観上の課題ではないのでしょうか。</p>
会長	<p>景観構造については、より細かく示す必要があるかもしれません。景観形成の骨格となる要素や資源付近では、景観アドバイザーとの協議内容を細かく記録し蓄積して、デザインにいかしていくことが求められます。</p>
事務局	<p>景観形成の骨格となる、地域をまたがる要素や資源について、どのように取り扱うかは検討していきたいと思います。</p>
副会長	<p>第9章 景観形成の推進方策に係る内容になりますが、本市景観計画の実効性の担保や市民啓発のため、シンポジウムを行う予定はありますか。</p>
事務局	<p>これまで、現行計画の策定時と景観重要樹木指定時にシンポジウムを開催しています。シンポジウムなのか、懇話会なのか、形式は未定であります。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
副会長	<p>何かしら実施する必要はあると考えています。</p> <p>シンポジウムを行うには、2つの目的があると思います。1つ目は市民が景観計画の理解を深めること、2つ目は戸田市の見方・知り方・味わい方を市民に周知するということです。</p> <p>戸田市には、市民にもまだ知られていない魅力があるのではないかと思います。魅力を知って住み続けてもらうために、毎年継続していくことが大切だと思います。景観の楽しませ方にはコツがあると思うので、例えばさきほど話題に挙げた戸田市フィルムコミッション協議会の人を招く方法や、景観計画には記載しきれない課題や問題点を市民に挙げてもらって拾い上げていく方法もあります。開催の様子は、例えばケーブルテレビで映像として広めると、本市の景観に関心がなかった方々にとっても身近に感じてもらえるようになっていくかと思っています。</p> <p>また、表彰制度をつくり、例えば三軒協定、特に夜間のイルミネーションをつなげていくユニークな取組を表彰していったらどうでしょうか。地域で良好な景観を作り上げていくためには、地域の小さな取組みを評価していく姿勢が大切かと思っています。</p> <p>そのほか、資料2 25ページにリノベーションされた倉庫の写真がありますが、事業所の個別名称を記載するとその事業所のPRにもなり、好ましいかもしれません。リノベーションされた倉庫の写真を充実させて、倉庫がこれまで持っていたネガティブなイメージを逆手にとり、好ましいイメージがより伝わるようにしてほしいと思います。墨田区本所の倉庫リノベーションの事例もありますし、計画書の本文には記載しきれないこともあると思いますので、エリアリノベーションのような話題をシンポジウムで掘り下げてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど会長のご発言にあった、工場や倉庫で期間限定のギャラリーのように写真展をやるというアイデアは面白いと思います。工場や倉庫は自然資源である川に近いことが多く、週末、駐車場が未使用で広場のように空間を有</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
副会長	<p>しており、安全面に配慮が必要ですが、活用していくポテンシャルがあると思います。映画を上映している事例もあります。</p> <p>他都市の事例などもパンフレットに盛り込んではどうでしょうか。また、景観上の「資産」として認知を高めていくため、景観資産の登録制度を検討してほしいと思います。世田谷区が先進的で、越谷市でもこのほどこの取り組みをスタートさせました。戸田市の景観づくりも、いよいよ実践段階に入ってきたと感じました。第9章の景観形成の推進方策が大きな意味を持つと思うので、十分に検討してください。</p>
委員	<p>戸田市はネーミングライツの取組をされているし、環境空間の一部が寄付により整備されているなど、企業が社会貢献として積極的に景観づくりに関わっていく可能性があると感じています。景観形成に役立つ取組を盛り込むのはいかがでしょうか。</p>
会長	<p>マイナスに受け止められていたものを、見方を変えて資源としていかすようなやり方を誘発する書き方ができそうです。インテリアの写真でも構わないので、倉庫の良さが伝わるようにしてほしいと思います。</p>
委員	<p>市内を歩いてみると、レトロで歴史的に価値を感じる工場もありました。</p>
副会長	<p>荒川区では、工場跡地活用の際に区役所が交渉して、駐輪場のところに工場のレンガ塀を一部残した事例もあります。まちの記憶を残すことは景観形成上とても大事なので、そのようなことを誘発する書き方はできると思います。</p>
委員	<p>戸田市は物流の拠点であり、産業は重要な要素です。倉庫は防災面でも必要なので、産業としてどう存続していくかという観点も重要だと思います。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
副会長	先ほどの事例は、倉庫の用途転換を促すという話ではなく、倉庫が用途を転換せざるを得なくなった時に、景観としてどのように保全していくのかということについての話です。
会長	それでは、本日の諮問案件は、次回の審議会で継続審議することとします。
事務局	<p data-bbox="411 622 571 663"><u>7. その他</u></p> <p data-bbox="379 685 1481 842">次回の都市景観審議会は、平成31年2月14日（木）午前10時から開催予定です。詳細は、後日改めてご連絡しますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<u>8. 閉会</u>